

教育協力 NGO ネットワーク（JNNE）2025 年度事業報告、2026 年度事業計画

活動分野	事業報告 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)	事業計画 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)
情報交換・ネットワーク	<ol style="list-style-type: none"> 1. 団体会員数は 23(2025 年度から 1 団体入会、1 団体退会)、協力団体会員数は 3 (増減なし)。 2. 会員 ML を通じて情報交換を行った。 3. 予定していた『Global Education Monitoring Report 2026 サマリー日本語版』のローンチイベントは、UNESCO によるグローバルローンチの開催が 3 月に延期されたため、実施できなかった。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 団体会員の増加を図る。 2. 会員 ML を継続する。 3. GCE、ASPBAE のメンバー団体として情報交換を行い、活動に協力する。 4. 広島大学 CICE 発行による『Global Education Monitoring Report 2026 サマリー日本語版』の編集に協力し、ローンチイベントを開催する。
調査研究	<ol style="list-style-type: none"> 1. ECW との連携事例調査 (SVA 主導、ECW 新助成事業) を実施中。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 左記の事業を継続する。
能力強化	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急時の教育の最低基準 (INEEMS) 研修を 2025 年 9 月と 2026 年 2 月に実施し、計 29 名が参加した (ECW 助成事業)。 2. 教育協力プロジェクト研究会 (オンライン) を 2 回実施し、KnK が「パキスタンにおける女子の中等教育へのアクセス拡大と質の向上」について、SCJ が「学校保護宣言キャンペーン」について発表した。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ECW による助成を受けるためのオンライン研修 (SVA 主導、ECW 助成事業) 2. 緊急時の教育の最低基準 (INEEMS) の研修 (オンライン) を 1 回実施する (SVA が主導)。 3. 教育協力プロジェクト研究会 (オンライン) を開催する。
政策提言・キャンペーン	<ol style="list-style-type: none"> 1. SDG4 教育キャンペーンを「SDG4 教育目標を達成するための声を国会議員と日本政府に届けよう」をテーマに 3 月～8 月に実施した (ECW 助成事業)。実行委員会を組織し、FTCJ が事務局を担った。キャンペーンの主な成果は、①SDG4 政策 (子どもの権利教育、子どもの意見表明、外国人の子どもへの教育、サブサハラ以南アフリカへの教育支援、危機下の教育支援、学校保護宣言) についての政党アンケートに 7 主要政党から回答を得た。②5,100 名の子ども、若者、市民が政党名を匿名にしたかたちで自分の考えに近い政党の回答に投票した。③ 4 政党の計 11 名の国会議員と子ども・ユースとの意見交換会を開催した。④子ども・ユースが外務省、文部科学省、防衛省、こども家庭庁を訪問し、意見交換を行った。⑤第 9 回アフリカ開発会議 (TICAD 9) の「危機状況下における教育支援とジェンダー平等」をテーマとする公式テーマ別イベントで子ども・ユースが発表した。このイ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実行委員会を組織し、SDG4 教育キャンペーンを 3 月～8 月に実施する (ECW 助成事業)。 2. GPE および ECW への拠出増額、日本政府による学校保護宣言の賛同、国連租税枠組み条約および国連債務枠組み条約の採択、G7 サミットに関与、協力する。 3. 「SDG 市民社会ネットワーク」に参加し、教育ユニットの世話人を務める。ポスト SDG4 アジェンダ策定に関わる。 4. 緊急時の教育、ECW についての関連資料の翻訳、イベントの開催、ロビイング、議員の海外視察 (ECW

	<p>ベントはプラン・インターナショナル・ジャパンが主導した。</p> <p>2. SDGs 市民社会ネットワークの教育ユニットの世話人を務めた。</p> <p>3. ECW の年次報告書の日本語版を作成し、WEB で公開した。</p> <p>4. JICA、開発コンサルタントが主催する「教育協力ウィーク」に協力した。2つのイベント「危機下における識字・ノンフォーマル教育支援 一子ども・若者・成人の学習をいかに継続できるか」(SVA が主導)、「学校保護宣言」策定から10周年 日本政府による賛同に向けて— 教育を攻撃から守る世界のグッドプラクティスから考える」(SCJ が主導) を主催した。(ECW 助成事業)</p> <p>5. 国会議員に対するロビイングを継続して実施した。(SCJ が主導、ECW 助成事業)。</p>	<p>助成事業、SCJ, Everybeing, SVA が主導)。</p> <p>5. JICA、コンサルタントが開催する「教育協力ウィーク」に協力する。9月9日「学校を攻撃から守る国際デー」を記念したイベントを行う (SCJ 主導) 予定。</p>
--	--	--

上記の活動の成果として、補正予算により、ECW への日本政府の拠出の増額が決まった。

2026 年度 事業実施スケジュール

上段は JNNE、下段は国際社会

2026 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2026 年 1 月	2 月	3 月
<p>■SDG4 教育キャンペーン (8 月まで)</p> <p>■ECW による助成を受けるためのオンライン研修</p>	<p>■総会</p>				<p>■教育協力ウィーク</p> <p>■INEEMS 研修</p> <p>■議員海外視察 (予定)</p>	<p>■プロジェクト研究会</p>				<p>■プロジェクト研究会</p>	
			<p>■国連 HLPF</p>		<p>■GPE 増資会合</p>		<p>■ECW 増資イベント</p>				